

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成19年度					管理	4-2-2-8
事務事業名 堆肥助成事業交付金事業					部等名	産業建設部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	水田農業改革推進事業	課等名	農政課
	一般	01-060103002	細々目名		係等名	農政係
政策体系	基本目標	4	活力あるふるさとのまちづくり			
	施策	2	農業・林業の振興			
	基本事業名	2	農業生産体制の整備			

事業概要 実施内容	生産調整達成者に本宮堆肥センター・白沢有機センターの堆肥を助成する。 フレコン堆肥 生産調整達成面積1,250㎡に対し1袋 小袋堆肥 生産調整達成面積1,000㎡に対し10袋				
根拠法令等	本宮市農林業振興事業補助金交付要綱	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業 <input checked="" type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定(年度 ~ 年度)			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役務費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	円	19 負担金補助及び交付金	13,131,200 円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	13,131,200 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象(誰を、何を)		生産調整達成者 (JAみちのく安達代行)	
手段(事業の具体的な内容、手順等)		生産調整達成者に対し、今後も意欲的に生産調整に協力してもらうため、毎年実績に応じ本人希望をとりまとめの上、堆肥センターや有機センターからフレコン堆肥や小袋堆肥を、直接圃場や自宅に配達する。フレコン1袋と小袋10袋の交換は可能である。	
意図(対象を、どのような状態にしたいのか)		生産調整100%達成を目指し、達成者が今後も意欲的に生産調整に協力していただくこと、循環型農業を推進することと併せて、堆肥・有機両センターの利用拡大を図る。	
活動指標名・式(アウトプット) 活動の大きさを表す指標		指標(1) 名称 堆肥助成農家数 式 指標(2) 名称 助成堆肥数量(フレコン換算) 式	
成果指標名・式(アウトカム) 意図の達成度を表す指標		指標(1) 名称 堆肥希望農家率 式 堆肥希望農家数 ÷ 生産調整達成農家数 指標(2) 名称 式	
事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか			
肥料価格が大幅に上昇し、農業経営に大きな影響を及ぼすことが危惧されるため、これまで以上に化学肥料を押さえ、有機肥料(堆肥)を取り入れた栽培により、生産コストの削減に努めることにより、消費者の安全・安心の意識が高まり、農産物の販路拡大が期待できる。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度(実績)	年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込み)	年度(最終目標)
指標	活動指標(1)	戸			1,310	1,350	
	活動指標(2)	袋			1,142	1,200	
	成果指標(1)	%			94	97	
	成果指標(2)						
投入量	事業費	財源内訳	国・県支出金	千円			
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			13,131	13,928
		事業費計(A)	千円			13,131	13,928
	人件費	職員数	人			0.1	0.1
		人件費平均額(年)	千円			8,373	8,373
	人件費計(B)	千円			837	837	
	総事業費(A+B)	千円			13,968	14,765	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

<p>、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか？ 世界的にバイオエネルギー(燃料)の生産が加速し原油価格も高騰する中、穀物の輸入価格が高騰するなど、化学肥料等についても大幅な値上がりをしており、値上げを押さえた市内堆肥・有機センターの堆肥の施用が積極的になる時代を迎えている。</p> <p>この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？ 畜産農家等からは、加工された堆肥は必要ないとのことで、助成金額相当の替わるものの支給を要望する声がある。</p>

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
生産調整の推進を図る上で、達成者・未達成者への待遇に格差を付けることは妥当と考える。	生産調整事務そのものは、生産調整方針作成者でもあるJAに移管しているが、達成者に対する堆肥助成は、市で対応すべきと考える。	生産調整達成への意欲をかきたてる効果もあり、達成者への助成は妥当である。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
	達成者・未達成者の格差がなくなることにより、生産調整への協力意欲が低下する。	生産調整達成者への、唯一の助成であるため。
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
生産調整達成面積に対する助成であり、また金額にして10a当たり4,000円であるため、これ以上削減すると協力意欲が低下する。	人件費は見えていない。	受益者負担はない。

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																								
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(4) 改革改善案の概要																								
生産調整イコール転作という時代から、飼料米や稲ホールクroppサイレージ (WCS) 等、米を栽培しても生産調整を達成する道が開けてきているので、今後未達成者に対する生産調整への協力依頼を強化できる。																								
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																								
これまで何年も生産調整に協力してこなかった農業者は、協力しなくても何の実害もないことから、米を作付けした生産調整方式を説明しても、販売価格が安いこともありなかなか協力には応じないため、産地づく交付金での助成を活用することが重要となる。																								

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																							
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																								
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																								